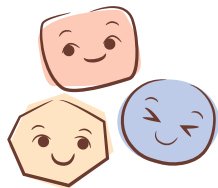


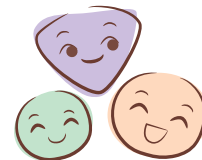
性的少数者

# LGBTってなに？

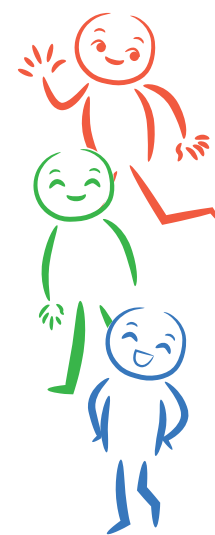
性だって  
いろいろある



最近、ニュースや新聞、雑誌などで「LGBT」という言葉を見聞きする機会が増えました。この「LGBT」という言葉、知っていますか？  
知っている人も知らない人も、LGBT当事者の声も交えつつ基本的なことから一緒に学んでみましょう。



## 人の数だけある性の在り方



LGBTとは、レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（身体性と性意識の不一致な状態）の頭文字をとった言葉で、セクシュアルマイノリティ（性的少数者）の総称として使われることもある言葉です。日本では、7.6%（約13人に1人）いるという調査結果もあります（出典：電通ダイバーシティラボ「LGBT調査

2015）。一般に「性別」という言葉を聞くと、外生殖器・内生殖器・性染色体などの分化状況によって判断される「①身体の性」をイメージされる方が多いかもしれません。  
しかし、セクシュアリティ（性の在り方）には四つの要素があると考えられています。「①身体の性」のほかに、自分自身の性別に対する自認、確信などを表す「②心の性」、恋愛対象や性愛の対象となる性を表す

編集協力：特定非営利活動法人 ReBit(リビット)

LGBTの子どももありのままオトナになれる社会を目指し、教育現場への出張授業、LGBT成人式などのイベント運営、LGBTの就職活動支援などを行うNPO法人。

### Lesbian

(レズビアン…女性同性愛者)

### Gay

(ゲイ…男性同性愛者)

### Bisexual

(バイセクシュアル…両性愛者)

### Transgender

(トランスジェンダー…身体と性意識の不一致)

「③好きになる性」、一人称や服装、話し方、振る舞いなどに見られる社会的性である「④表現する性」。この四つが組み合わさることでセクシュアリティが構成されます。セクシュアリティは人の数だけあると言われており、L、G、B、T以外にも様々なセクシュアリティが存在します。  
セクシュアリティの名前や枠に当てはめずに、その人のありのままを理解することが大切です。例えば、トランスジェンダーであっても、人によって「②心の性」は様々です。身体の性と反対の性であるという自認を持っている人もいれば、中間であるという人、あるいはそもそも性自認が存在しない無性であるという人等、一人ひとり違います。  
自身のセクシュアリティを自覚する時期は思春期が多いと言われていますが、幼少期に自覚したという人もいれば、大人になってから自覚した人など一人ひとりによって異なります。

## 男女で分けられて困る子どもたち

LGBTが子どもの頃に困りやすいことは、大きく分けて二つです。

一つ目に、敬称(さん、くん)、持ち物の色、名簿や席順、またトイレや修学旅行の部屋といった、男女で分けられているもの・ことです。前者に関しては男女混合にするという対応が考えられますが、トイレや宿泊先の部屋・風呂、制服、健康診断などは男女一緒にすることは難しく、相談に応じて個別対応が必要です。相談しやすい環境をつくるためにも、「修学旅行のお風呂で心配なことがある人は相談して」等、全体へ向けた声かけが大切です。

二つ目に、LGBTがいないことが前提となった言動です。例えば、男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしくという固定的な性別役割分担意識に基づく考え方や、誰もが異性愛者で、いつか結婚や子育てをすることを前提とした考え方を指します。これらはLGBTの子どもの限らず、自分らしい振舞いを阻害したり、進路の選択を困難にしたりする場合があるほか、多様なライフス



「トイレで立って用を足すのに抵抗があったが、個室を使うとからかわれるので、給食の時間などに体育館などひと気のないトイレを使っていた」  
(20代・M+F)

「制服のスカートの下に常にジャージをはいていた。反抗ではなく、女子の制服が嫌だったからだけど、頭ごなしに怒られて辛かった」  
(20代・F+M)

## 子どもの時に困ったこと

「『男子は重いもの運べ!』などのように、部活で男らしさ・女らしさを強要されることが多くて辛かった」(20代・M+X)

**FtM (Female To Male)**  
身体の性は女性で、こころの性は男性の人  
**MtF (Male To Female)**  
身体の性は男性で、こころの性は女性の人  
**MtX (Male To Xgender)**  
身体の性は男性で、こころの性は男性・女性どちらかにはっきりと決まらない人  
**FtX (Female To Xgender)**  
身体の性は女性で、こころの性は男性・女性どちらかにはっきりと決まらない人

「男子は教室で着替えることになっていただけ、同性に身体を見られるのが嫌だったから、いつも急いで着替えていた」(20代・ゲイ)

「将来設計をするという授業で『結婚の時期』『子どもを産む時期』を記入するのが当たり前のような説明をされ、疎外感を感じた」  
(20代・レズビアン)

## 苦しかったこと

「高校生の頃、学校や家庭でLGBTをバカにしたり、笑いの対象にする話題が多くあったけど、笑って話を合わせていた。自分は好きになる性が男性だって自覚があったから、バれるのが怖くてまわりに合わせていた」(20代・ゲイ)

「学校では『優等生でいい子』だったけれど、中学生の頃からまわりの友達や先生にバレないように自傷行為を繰り返していた」  
(20代・パンセクシュアル)

**パンセクシュアル**  
相手の性の在り方にかかわらず、恋愛や性愛の対象となる人。バイセクシュアルよりもさらに幅が広い。